

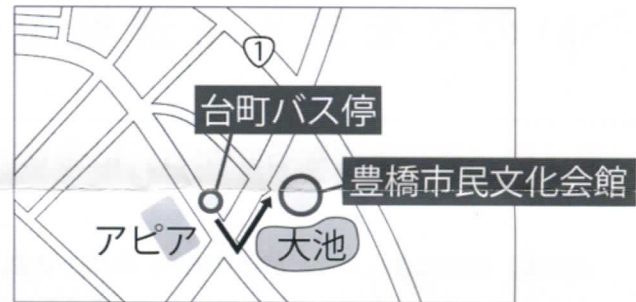
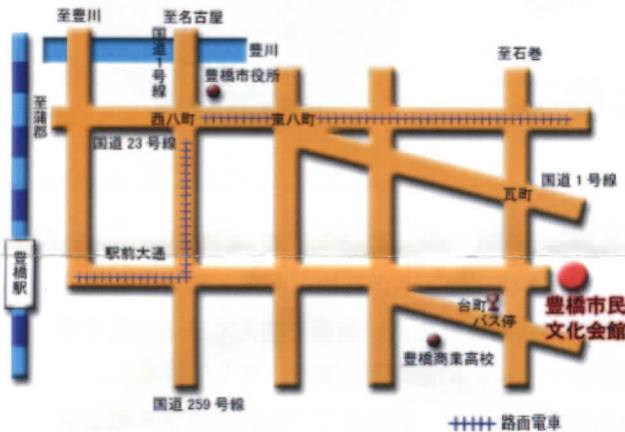
米沢ゼミ 第2回テーマ「身寄りになるかたち」

日時 2016年11月26日土曜日 14:00開演～16:00迄

会場 豊橋市民文化会館 2階第5会議室 会費 1000円 (学生・未成年 500円)

会場アクセス / 車で豊橋駅から10分 (愛知県豊橋市向山大池町20-1)

バスは、豊鉄バス 豊橋駅前③④番のりば乗車、台町バス停下車、歩道橋を渡って左手へ約5分。



2016年9月～2017年7月迄の米沢ゼミの予定

第1回	いのちを受けとめる郷(まち)へ 市民ホスピスへの道 (2016年9月17日土曜日) 終了しました	C
第2回	身寄りになるかたち ファミリー・トライアングル (2016年11月26日土曜日)	B
第3回	病院化社会を生きる 往きの医療と還りの医療 (2017年1月28日開催予定)	B
第4回	ホスピスへの遠い道 近代ホスピス200年の系譜—5人の母 (2017年3月25日開催予定)	A
第5回	岡村昭彦といのちの思想 戦場からホスピスへ (2017年5月27日開催予定)	C
第6回	病院・病棟は誰の為のものか 岡村昭彦の遺したもの (2017年7月29日開催予定)	A

A 「いのちへの配慮」⇒生老病死、その受けとめ指標 B 「ケアという臨床」⇒看護、介護の・実践・思想編

C 「ホスピスへの道」⇒いのちの社会学 ※ゼミのテーマ・日程・会場は変更する場合があります

いのちを考えた
いのちから考えようセミナー (1)

いのちを受けとめる
かたち — 身寄りになること

米沢 慧

ゼミのテキストになる本

『いのちを受けとめるかたち—
身寄りになること』

木星舎 1200円

『市民ホスピスへの道—

〈いのち〉の受けとめ手なること』

春秋社 1800円

〈認知症—言葉でくられていくいのち〉

認知症を身近に感じたいという思いから、
認知症を身近に感じたいという思いから、
いま、私たちはその受けとめ方を模索している。

私たちは、病み取りされた、
尊厳を失った人々のいのちを受けとめたいと、
いのちの輝きを思い描くために、〈いのちの社会学〉を編み出した。

市民ホスピス
への道

山崎章郎
二ノ坂保喜
米沢 慧

〈いのち〉の
受けとめ手になること



いま、
いのち
は
医療から
市民の手へ。

申込先 ホスピスの街 東三河 代表 かけはし 山田和男

電話 090-4855-8760 メール kakehashi917@yahoo.co.jp